

## 第2学年 国語科学習指導案

1組 児童	男子15名 女子7名	計22名
指導者	教諭 千田 玲子	
2組 児童	男子15名 女子7名	計22名
指導者	教諭 熊澤 涼子	

- 1 単元名 だいじなところに気をつけて読もう  
 教材名 中核教材 「サンゴの海の生きものたち」(光村 国語 2年)  
 補助教材 「みずべのいきもの2」

### 2 単元について

#### (1) 児童観

児童は、2年生になって、「たんぼぼのちえ」で時間の順序や理由づけを示す言葉に着目し、様子とわけなどを考えながら読むことなどを学習し、それをもとに植物の知恵カードを作った。また、「今週のニュース」では、必要な事柄を集めて書くこと、「かんさつ名人になろう」では、相手や目的を考えながら書くことを行ってきた。

これらの学習を通して、時間を表す言葉や文末表現、主語などに着目しながら叙述に即して理解する力や、調べたことを書いて伝える力を少しずつ身につけてきている。また、発見や知識を得られる説明文を読むことへの興味を持ってきている。

しかし、文章の大体をつかんで読むことや、自力で時間的な順序・事柄の順序などを考えながら読むことはまだ難しい。また、主語述語のとらえが曖昧だったり順序立てて書くことが難しかったりする児童がまだ見られる。事前テストの結果は、以下の通りである。

問題	正答率
①主語の抜き出し(「誰が」にあたる言葉)	75%
②書かれている内容の大体(かかわり合いをもつ生き物の抜き出し)	75%
③まとめの段落に使われる接続語の選択(このように)	70%
④書かれている内容の大体(かかわり合い方の記述)	30%
⑤文章構成の3つのまとめ	0%

<①について> 主語という用語と意味については定着しつつある。主述のつながりを正しくとらえさせたい。

<②について> 2問完答。イソギンチャク等に比べ、名前がはっきりしていない「大きな魚たち」という表現は児童にとってはとらえにくいと思われる。この表現については第5時で扱う。

<③について> 既習教材(たんぼぼのちえ)でも使われているが、文章全体を理解できないと、「まとめ」であることをとらえることができないと思われる。文章構成とともにとらえさせたい。

<④について> 2問完答。何を追い払うのか目的語が抜けている子が多かった。文の大切な要素を落とさずに読む・書くことに気づかせたい。

<⑤について> 初めて読む長文を短時間でおおまかにつかむことは難しいのが実態である。本単元で、初めて扱われる文章構成である。説明文の基本的な構成として丁寧に指導したい。

#### (2) 教材観

第1、2学年の説明文単元における「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気づきながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書する態度を育てる」である。また、本単元に関わっての読むことの重点は「イ時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと エ語や文のまとめ、内容のまとめを考えながら読むこと」である。「書くこと」に関しては、「ア書こうとする題材に必要な事柄を集めること。」である。

本教材に出てくる海の生き物は、共生によって生きており、児童がこれまでに知ることのなかった不思議に満ちている。説明文を読む喜びを実感できる教材といえよう。また、文章構成も「初め・中・終わり」という典型的なものになっている。ただし、これまで読んできた説明文に比べ、説明がやや複雑になっている。登場する生き物の数が多くなり、生き物相互の関係も、入り組んでいる。興味関心を失わないようにしながら、事柄を整理して読み進める必要がある。

本教材は、「初め」に文章全体への問いかけがあり、「中」で、共生の具体例2つについて述べ、「終わり」で文章全体のまとめを行うという構成である。具体例の説明は、生き物の特徴を述べ、次に関わり合いを述べるという順になっている。問いかけの文に沿って読み、事柄の順序や内容を考えながら読むといった説明的文章の基本的な読みを習得するのにふさわしい教材であるといえる。

### (3) 指導観

本単元では、『サンゴの海の生きものたち』が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読む。図書館などの本を読んで『生きもののちえ』カードを作る。」ことが目標である。

そのため、「関わり合い」を読み取るという読みの方向づけに従い、事柄の順序、主語・述語、必要な事柄のとらえを確かなものにしながら読み進めるとともに、「初め・中・終わり」という文章構成を把握させたい。また、生き物の不思議を感じとらせ、読書への発展も図っていききたい。そして、自分が伝えたい題材について必要な事柄を選ばせ、基本的な文章構成にのっとり表現させたい。各段階の留意点は、次のようである。

つかむ段階では、既習教材や写真により児童の経験や知識を引き出し、興味関心を持たせる。説明文（「生きもののちえ」カード）を書き、友だちに読んでもらうという目的意識・相手意識を持たせる。

見通す段階では、「初め」の部分から生き物の「とくちょう」と「かかわり合い」を読み取っていくという読みの課題を設定する。

深める段階では、2つの生き物の特徴と関わり合いを一人学びと学び合いを通して読み取り、表にまとめさせる。そして、関わり合いを1文で整理する。これは、説明的文章を書くスキルとするためである。読み取りにあたっては、主語や述語、問いかけやまとめを表す「どんな～のでしょうか。」「こうして、～のです。」「このように」などの表現に着目させていきたい。最後に、教材文全体を概観しながら、「初め・中・終わり」という基本的な文章構成にふれたい。

確かめる段階では、教材文と類似した文の読み取りと簡単な説明文を書くことによって、学習の成果を確認させ、自力で書く力につなげていきたい。また、言語活動を活発にするため、ブックトークを行って関連する図書を紹介したり、単元導入時から身近（ワークスペース）に生き物の本のコーナーを設置して並行読書ができるようにしたりする。

活かす段階では、学んだ文章の文章構成が説明文を書く際に役立つことを確認し、「生きもののちえ」カードを作ることで応用できるようにさせたい。文章から必要な事柄を集め順序よく3つのまとまりで書くこと、接続語を使った文を書くことは、中学年に向けて、段落を意識した読みの基礎をなるだろう。尚、対象となる生き物は、サンゴの海には限定せず扱うこととし読書の幅を広げさせたい。

仮説にかかわって

#### 手立て1 活用することを意識した単元構成の工夫

「生きもののちえ」カードを書いて、友だちや学校の人に読んでもらうことをゴール（目標）にする。そのために、深める段階で、2つの生き物の関わり合いを読み、分かりやすくまとめて書く活動を行う。また、文章構成を意識させる。活かす段階で、生き物の本から大事なことを書き抜き、特徴と知恵を含む説明文を3つの文章構成で書くことで学習の成果を確かめさせる。

#### 手立て2 個の学びを深める指導の工夫

- ・書く活動を取り入れる。ワークシートを工夫するとともに、サイドラインや囲みなどを活用する。
- ・活かす段階では、自ら選んだ生き物について、初め（名前の紹介）→中（特徴と知恵の説明）→終わり（まとめ「こうして、～のです。」）の文章構成を活用して書かせる。

### 3 単元の目標

【読むこと】・「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読む。(イ)

・語や文のまとまりや内容、言葉の響きなどについて考えながら声に出して読む。(エ)

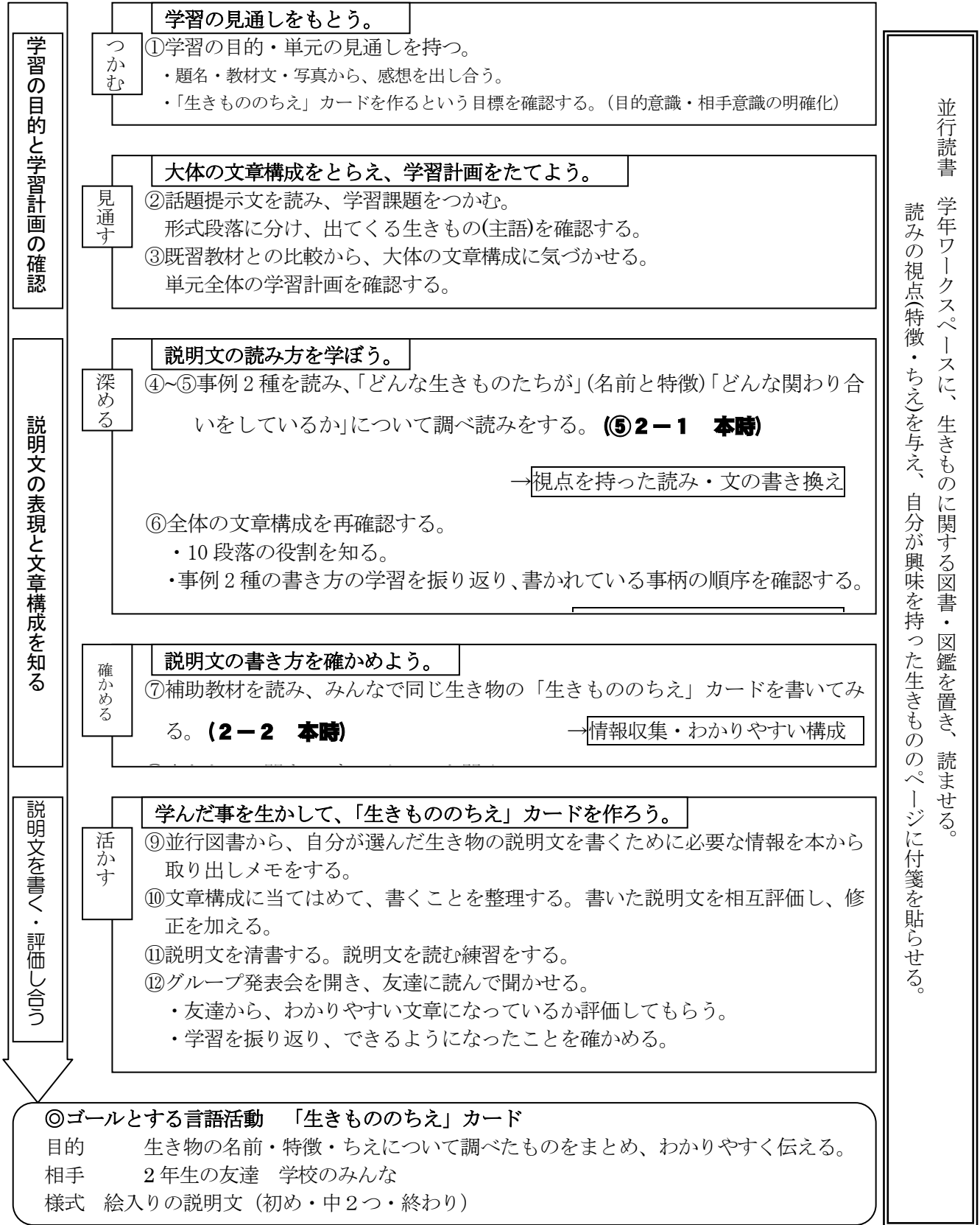
【書くこと】・書こうとする題材に必要な事柄を集めて書く。(イ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】・片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使う。(エ)

4 単元構想図

単元名 「大事なことに気をつけて読もう」

目標 事柄の順序を考えながら、書かれていることの大体をつかんで読むことができる。  
必要な事柄を集め、基本的な文章構成で説明文を書くことができる。



◎ゴールとする言語活動 「生きもののちえ」カード

目的 生き物の名前・特徴・ちえについて調べたものをまとめ、わかりやすく伝える。  
 相手 2年生の友達 学校みんな  
 様式 絵入りの説明文(初め・中2つ・終わり)

5 単元の指導計画と評価規準 (全12時間)

次	時	学習活動	読む能力	書く能力	基礎的・言語文化の鑑賞・発展に資する事項
1 つかむ	1	・既習教材や経験、知識を想起し、サンゴの海の生き物に興味・関心をもつ。・初発の感想を持つ。説明文を書く目標をもつ。相手意識・目的意識をもつ。	・全文を読み、生き物の不思議について初発の感想を書いている。(エ)		
2 見通す	2	・段落①②をもとに学習課題をつかみ読みの方向付けを行う。	・語や文としてのまとまりを考えながら読んでいる。(ア)		・片仮名を読んでいる。(エ)
	3	・文章構成に気づき、学習計画を立てる。	・語や文としてのまとまりを考えながら読んでいる。(ア)		・主語をとらえている。(イ)
3 深める	4	・段落③④⑤⑥において、どんな生き物が暮らしているのか、名前と特徴と関わり合いに着目して読み取る。(事例1)		・語句や続き方に気をつけながらまとめている。(ウ)	・主語、述語をとらえている。(イ)
	5 一組	・段落⑦⑧⑨において、名前と特徴と関わり合いに着目して読み取る。(事例2)	・大事な言葉を書き抜いている。(エ)	・語句や続き方に気をつけながらまとめている。(ウ)	
	6	・段落⑩の役割を知り、文章全体を振り返り、文章構成を確認する。	・事柄の順序を考えながら、内容の大体をつかんでいる。(イ)		
4 確かめる	7 二組	・補助教材を読み、3つの構成で説明文を書く。		・簡単な構成でつながりのある文章を書いている。(ウ)	
	8	・生き物に関するブックトークを聞く。	・自分の思いや考えを発表し合っている。(オ)		
5 活かす	9	・「生きもののちえ」カードに書きたい生き物の特徴と知恵をメモする。	・文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。(エ)		
	10	・事柄の順序に沿って自分で説明文を書く。相互評価、修正を行う。		・伝えたいことの構成を考えている。(イ)	・片仮名で書く語句に気をつけている。(エ)
	11	・「生きもののちえ」カードを清書し発表の準備をする。			・文字の形に気をつけて丁寧に書いている。(ア)
	12	・「生きもののちえ」カードを発表し合う。 ・学習を振り返り成果を確かめる。	・文章の内容と学習したことを結びつけ感想を発表し合っている。(オ)		

6 本時の指導【5/12時 2年1組】

(1) 目標

ホンソメワケベラと大きな魚たちが、どんな関わり合いをしているか、関わり合いの文を書くことができる。

(2) 指導にあたって

本時では、学習課題の「どんな生き物が」「どんな関わり合いをしているか」という視点から、生きもの の名前、特徴、関わり合いを読み取らせていく。事例1で読み取ったときの方法を生かし、大事な言葉 だけに着目して特徴を書き出せるようにしたい。また、関わり合いを書き換えてまとめるのは難しいと予想 されるので、ホンソメワケベラと大きな魚の動きをペープサートで確認し、書き出しや文末表現を与えて、 まとめの文を書かせたい。

本時の指導の仮説との関わりは、以下の通りである。

手だて1 活用することを意識した単元計画の工夫

- ・「生きもの の名前や特徴」「関わり合い」といった視点をあたえることで、大事な(必要な)言葉に着目して 読み進められるようにする。
- ・「こうして」という書き出しから始まる、ミニまとめの文の書き方を練習させる。

手だて2 個の学びを深める指導の工夫

- ・名前や特徴、関わり合いを書きまとめさせるときには、「生きもの のちえ」カードにつながるようなワー クシートを用意する。
- ・関わり合いの文を書くときには、書き出しの言葉や文末の言葉を用意する。

(3) 本時の評価の観点と具体的評価基準

具体的評価基準 評価の観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
文章中の大事な言葉 に着目し、関わり合 いの文を書くことが できる。(ウ)	生きもの の関わりを、適切な 言葉を入れて書きまと めることができる。	生きもの の関わりを、おおよ その言葉を入れてまと めることができる。 (ワークシート)	「虫をとって」「虫をとら せて」の言葉を選ばせ、主語と 述語が合っているか考えさせ る。

(4) 展開

段階	学習活動 児童の反応(・)	支援(○)と評価(□)
つかむ 10分	1. 前時の想起をする。	○学習シートをもとに、クマノミとイソギンチャク の関わり合いを振り返る。  ○学習計画表で、本時の学習の位置を確認する。 ○主語がホンソメワケベラと大きな魚たちであるこ とを確認する。「大きな魚たち」とは、言葉や写真 から1種と複数種との関わりであることを確認す る
	2. 学習課題を確認する。 ○⑦⑧⑨段落に出てくる生きもの を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">ホンソメワケベラと大きな魚たちの、 とくちょうとかかわりあいをしらべ、まとめよう。</div>	
深める	3. 学習段落を音読する。 ○一斉読をする。	○特徴や関わり合いを書いてある段落はどこかとい う読みの視点を与える。
	4. 見通しを持つ。 ○特徴と関わり合いが書かれてある段落を見 つける。 ・⑦段落はホンソメワケベラの特徴。 ・⑧⑨段落は、関わり合い。  5. 一人学びをする。① ○ホンソメワケベラの特徴に、サイドライン を引く。	○特徴とは大きさ・形・色・手触り・特別に体につ いている物などの様子であることを確かめる。 ○特徴が書かれている段落と関わり合いが書かれて ある段落に色分けした印をつけさせる。 ○大きな魚たちの特徴が書かれていないことを確か める。 □教科書に正しくサイドラインを引くことができた か。(教科書)

30分	<p>6. 学び合いをする。①</p> <p>○ホンソメワケベラの特徴を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい青色の体</li> <li>・黒いすじが一本</li> <li>・体の長さ12センチメートルほど</li> </ul> <p>○大きな魚の特徴を話してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい</li> <li>・ギザギザの歯</li> <li>・黄色のすじ</li> </ul> <p>7. 一人学びをする。②</p> <p>○ホンソメワケベラと大きな魚の動きや気持ちを考えながら、それぞれが役に立っていること(関わり合い)を文で表す。</p> <p>8. 学び合いをする。②</p> <p>○ホンソメワケベラが役に立っていることをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホンソメワケベラは、大きな魚たちのために、体や口についた虫をきれいにそうじしてあげます。</li> </ul> <p>○大きな魚が役に立っていることをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな魚たちは、ホンソメワケベラのために、体についた虫をとらせてあげます。</li> </ul> <p>○ホンソメワケベラと大きな魚のミニまとめの文を考えまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうして、ホンソメワケベラと大きな魚たちは、たがいにたすけ合っているのです。</li> </ul>	<p>○文ではなく言葉を書き抜くようにさせる。</p> <p>○本や図鑑からの読み取りに活かせるように、大きな魚たちの特徴は書かれていないが、写真から分かる特徴を話させる。</p> <p>○ペープサートを用意して、動きを確かめながら、関わり合いを考えさせる。また、その理由をどの文や言葉からわかるか話させる。</p> <p>○「ホンソメワケベラは、大きな魚のために～」という書き出しを与え、役に立っていることを、知らない人にもわかるような文にする事を目指させる。</p> <p>○書き進められない児童には、述語の言葉を選ばせる。</p> <p>□大事な言葉が入り、主語に合った述語になっているか。(学習シート)</p> <p>○「こうして～」という書き出しを与えて書き始めさせる。</p> <p>○前時のミニまとめの文と比較しながらまとめていく。</p>
まとめ5分	<p>9. 学習をまとめる。</p> <p>○特徴・関わりと順番に書かれてあった事やまとめの文の書き出しを確かめる。</p> <p>10. 学習をふりかえる。</p> <p>○自己評価をする。</p> <p>11. 次時の確認をする。</p>	<p>○特徴があつて、役にたつかわりあいができること、生きるちえにつながっていることにふれる。</p> <p>○前時の学習と同様な構成になっていたことを確かめる。</p> <p>○学習シートに自己評価をさせる。(特徴と関わりを書きまとめられたか。進んで発表できたか。)</p>

(5) 板書計画

<p>こうして、ホンソメワケベラと大きな魚たちは、たがいにたすけ合っているのです。</p>	⑨⑧⑦		段落	<p>写真</p> <p>写真</p> <p>サンゴの海の生きものたち</p> <p>ホンソメワケベラと大きな魚たちの、とくちようとかかわり合いをしらべ、まとめよう。</p>
	大きな魚たち	ホンソメワケベラ	名前	
	<p>大きな魚たちは、ホンソメワケベラのために、体についた虫をとらせてあげます。</p>	<p>本黒いすじが一本の長さは十二センチメートルほど</p> <p>明るい青色の体</p> <p>ホンソメワケベラは、大きな魚たちのために、体や口についた虫をきれいにそうじしてあげます。</p>	<p>どんな生き物</p> <p>どんな関わり合</p>	
たすけ合い				

6 本時の指導 【7/12 2年2組】

(1) 目標

補助教材から特徴と知恵等を表す語句や文を選び出し、3つの構成で文章を書くことができる。

(2) 指導にあたって

- ・本時は、読むことの成果を確かめ、自力で説明文を書くためのステップとなる段落である。前時までに、生き物の特徴と関わり合いに着目しながら読み取ってきたが、本時では単独の生き物を扱うので、「関わり合い」はなく「知恵」とする。特徴と知恵の観点を掲示しておき思考の助けとしたい。2つの文章を扱い、初めは皆で、次に自分で説明文を書かせる。
- ・仮説との関わりについて

手立て1 活用することを意識した単元構成の工夫

「生きもののちえ」カードを書く練習をさせる。

手立て2 個の学びを深める指導の工夫

生きものの特徴と知恵を表すのに必要な事柄を集め、基本的な構成で文章を書かせる。

(3) 本時の評価の観点と具体的評価基準

具体的評価基準 評価の観点	具体的評価基準		努力を要する子への 手立て
	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	
・簡単な構成で、つながりのある文章を書くことができる。(ウ)	生き物の特徴と知恵を表す言葉を使って「初め・中・終わり」の構成で、主述の通った文章を書いている。	生き物の特徴と知恵を表す言葉を使って「初め・中・終わり」の構成で文章を書いている。(ワークシート)	文章の基本形を示し、それに則って書かせる。

(4) 展開

階	学習活動 児童の反応(・)	支援(○)と評価(□)
つかむ	1. 学習課題を確認する。	
5分	2. 例文を読む。 ○「3つのまとまり」という文章構成と書くべき要素をとらえる。	○掲示物の活用によってとらえさせる。
深める	3. 見通しを持つ。 ○3つの文章構成で書くこと。 ○学習の流れ。 ・必要な事柄(特徴と知恵等)を調べる。→文章に書く。→まとめの文を考える。 4. カード①を書いて書き方の練習をする。 ○補助教材の文章から必要な事柄を選び出す。 特徴＝・長い、2本のうで ・きゅうばん 知恵＝・えものが近づくと ・のばす ・はなさない ○3つのまとまりに書く事柄と順序を確認する。 (1) 一人学びをする。 ○必要な事柄(特徴と知恵)を入れて、イカについて説明する文章を書いてみる。	○特徴と知恵の観点を掲示しておきたい。 特徴の観点(色、形、大きさ、におい、音、手ざわり、特別に体についているものなど)知恵の観点(工夫していること)。 ○説明文を書くことにつながる活動なので丁寧扱いたい。 ○まとめの文の書き出しは、生き物が1種類なので「こうして」を使うことを確認する。 ○まとめの文は、できれば書いてみようということにしたい。 □3つのまとまりに分けて主述の通った文章を書くことができたか。(ワークシート)

生きもののとくちょうとちえをしらべて、「生きもののちえ」カードを書こう。

<p>深める</p> <p>35分</p>	<p>(2) 学び合いをする。</p> <p>○発表する。</p> <p>・「いかは、海の中にすんでいます。いかは、2本の長いうでもっています。そのうでの先には、丸いきゅうばんがついています。いかは、えものが近づくと、うでをのぼして、えものをつかまえます。きゅうばんがついているので、えものをにがしません。」</p> <p>○まとめの文を書く。</p> <p>・「こうして、いかは、えものをつかまえて食べるのです。」</p> <p>○音読する。</p> <p>○手順を振り返り、説明文の書き方を確認する。</p> <p>5. 自力でカード②を書く。</p> <p>(1) 一人学びをする。</p> <p>○特徴と知恵を入れて、アゴヒゲトカゲについて説明する文章を書いてみる。</p> <p>(2) 学び合いをする。</p> <p>○代表例を紹介する。</p>	<p>○付け足し、気づいたこと等を交流し、より分かりやすい文はどうあればよいか理解させる。</p> <p>○「こうして～」の文は、知恵に合った言葉を考えるようにさせたい。出せない場合は教師から例を提示したい。</p> <p>□3つのまとまりに分けて主述の通った文章を書くことができたか。(ワークシート)</p> <p>○自力で書き進められない児童には、ヒントとなる学習シートを与える。</p> <p>○必要に応じてまとめの文の例を提示する。</p>
<p>まとめる</p> <p>5分</p>	<p>6. 学習を振り返る。</p> <p>○成果を確認する。</p> <p>○自己評価・感想</p> <p>7. 次時の確認をする。</p>	<p>○ワークシートに自己評価を書かせる。(「生きもののちえ」カードが書けたか。進んで発表したか。)</p> <p>○分かったこと、できたこと、活躍した友達。</p> <p>○生き物の本を2冊程度提示し興味をもたせる。</p>

(5) 板書計画

<p>大きなことばをえらんで、三つのまとまりに分けて書くといい。</p>	<p>なんのためにちえをはたらかせているのかな</p>	<p>おわり</p>	<p>中</p>		<p>はじめ</p>	<p>まとめ</p>
		<p>まとめ</p>	<p>ちえ</p>	<p>とくちよう</p>	<p>名前・すんでいるところ</p>	<p>書くこと</p>
		<p>こうして</p>	<p>えものが近づくとうでをのぼすにがしません</p>	<p>一本の長いうで きゅうばん</p>	<p>海 イカ</p>	<p>大きなことば</p>
		<p>こうして、イカは、 のです。</p>	<p>イカは、 のぼして、えものを がついているので、 をにがしません。</p>	<p>イカは、 の うでもっています。そのうでの先に は、 がついています。</p>	<p>みなさん、 は、 にすんでいます。</p>	<p>文</p>

課題

サンゴの海の生きものたち

生きもののとくちようちえをしらべて、「生きもののちえ」カードを書こう。

① 名前・すんでいるところ

② とくちよう

③ ちえ

④ まとめ

↓大きなことば